

「世界腎臓デー啓発パネル展」開催要領（案）

1 目的

道内では慢性腎臓病の進行等による透析導入患者数は減少傾向にあるものの、その原疾患の約半数は糖尿病性腎症となっている。慢性腎臓病は、脳卒中や心筋梗塞などを併発するリスクがあること、透析導入などにより、その後の生活の質に重大な影響を及ぼすことから、3月第二木曜日の「世界腎臓デー」の時期にパネル展を開催することで、道民が糖尿病及び慢性腎臓病の症状を理解するとともに、発症及び重症化を防ぐための知識や方法を知る契機とする。

2 日時及び場所

令和元年（2020年）3月12日（木） 10:00～15:00

札幌駅前通地下広場（北大通交差点広場[東]）

3 主催等

- (1)主催：慢性腎臓病対策連絡会議、北海道腎臓病患者連絡協議会、北海道糖尿病協会、全国健康保険協会北海道支部
- (2)協賛：株式会社クリニコ、協和キリン株式会社、大日本住友製薬株式会社、中外製薬株式会社、バイエル薬品株式会社
- (3)後援：北海道医師会、北海道歯科医師会、北海道糖尿病対策推進会議、日本糖尿病学会北海道支部、北海道透析療法学会、NPO 法人日本腎臓病協会

4 事業内容

- (1)パネル・ポスターの展示や腎臓専門医によるミニ講話により、生活習慣の改善、受診・服薬の継続等の重要性を認識してもらい、糖尿病及び慢性腎臓病の発症・重症化予防のための知識を深める機会とする。
- (2)啓発用チラシ及び協賛企業からの協賛品を配布し、世界腎臓デーの普及啓発を図る。
- (3)患者・家族等の個別の悩みに対し、腎臓専門医等による個別相談会を開催する。

5 周知等

- (1)世界腎臓デー（3月第二木曜日）に係る取材要請
- (2)記者クラブへの投げ込み
- (3)チラシの作成・配布